

株式会社ネプロジャパン

2009年3月期(第18期)

決算説明会資料

(JASDAQ:9421)

2009年6月1日

代表取締役社長 金井 孟

目次

INDEX

I . 2009年3月期(第18期)決算ハイライト

- 1. 事業環境Page3
- 2. 連結業績概要Page4
- 3. セグメント業績概要Page6

II . 2010年3月期(第19期)業績見通し及び施策

- 1. 連結業績見通しPage12
- 2. 施策Page13

I . 2009年3月期(第18期)決算ハイライト

1. 事業環境

■携帯電話販売市場(移動体通信事業)

<Positive>

- ・携帯電話の修理、メンテナンス等の需要が増加

<Negative>

- ・買換え需要低下による販売台数の減少

■インターネット広告市場(ネットビジネス事業)

<Positive>

- ・堅調なモバイルコンテンツ市場
- ・巣籠もり需要の増加

<Negative>

- ・広告市場の伸びが鈍化
- ・メディア格差の拡大

■IP/セキュリティ市場(IPソリューション事業)

<Positive>

- ・IP市場の高いポテンシャル
- ・内部統制対策の需要が拡大

<Negative>

- ・ターゲットとしている中小企業の財務内容悪化

2. 連結業績概要

(1) 業績サマリー

(単位:百万円)

科目	08年3月期		09年3月期			
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	前年同期比	
					増減	比率 (%)
売上高	22,742	100.0	16,403	100.0	△6,339	72.1
売上総利益	4,844	21.3	4,704	28.7	△139	97.1
営業利益	688	3.0	607	3.7	△81	88.2
経常利益	588	2.6	545	3.3	△43	92.7
当期純利益	40	0.2	3	0.0	△36	9.7

主な増減要因

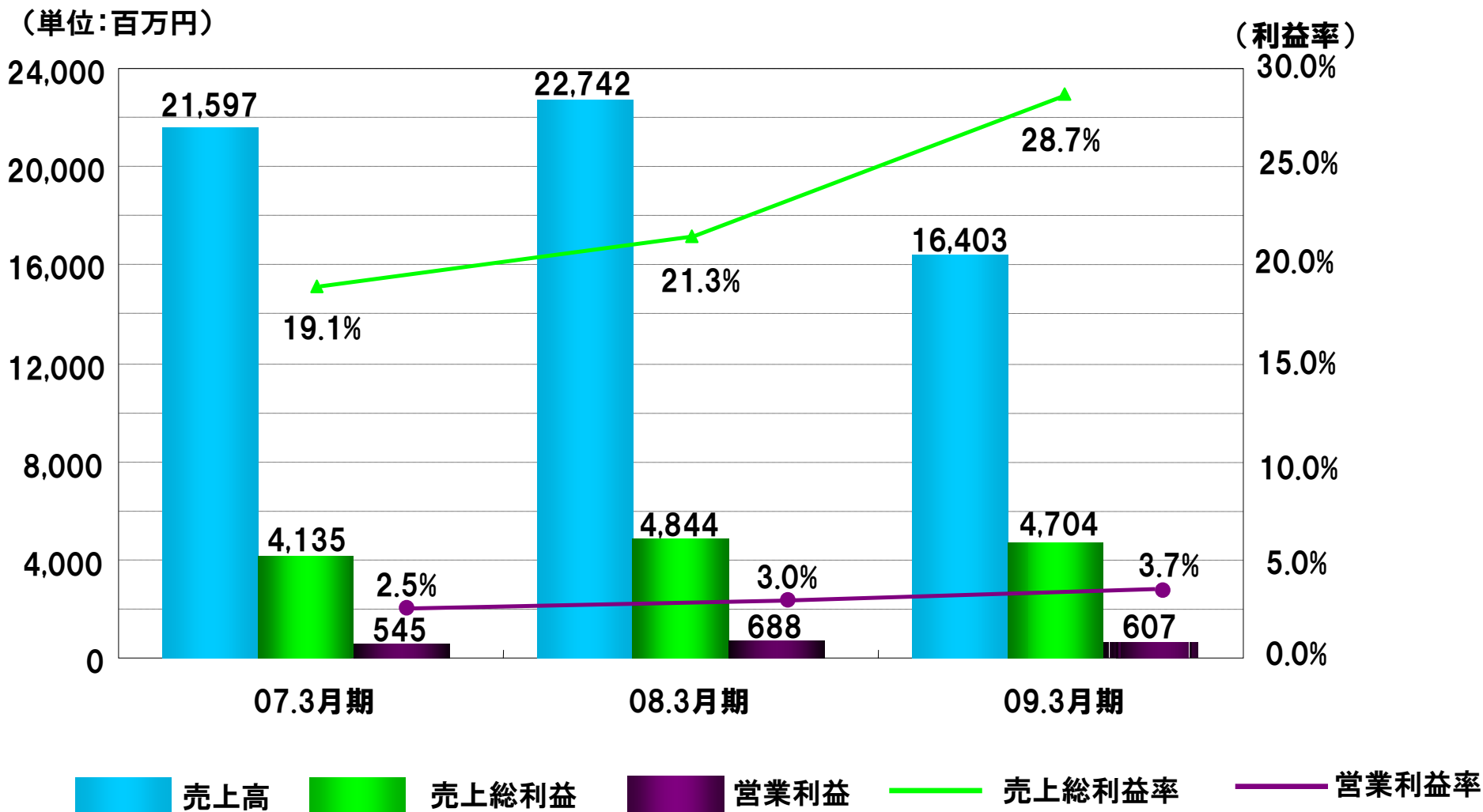
- ・移動体事業6,710百万円減
- ・ネットビジネス370百万円増

- ・売上総利益率7.4%向上
(移動体事業の販売単価の上昇、利益率の高いネットビジネス事業の比率拡大)

- ・支払利息21百万円増

- ・貸倒引当金繰入140百万円増

(2) 業績の推移



3. セグメント業績概要

(1) 業績概要

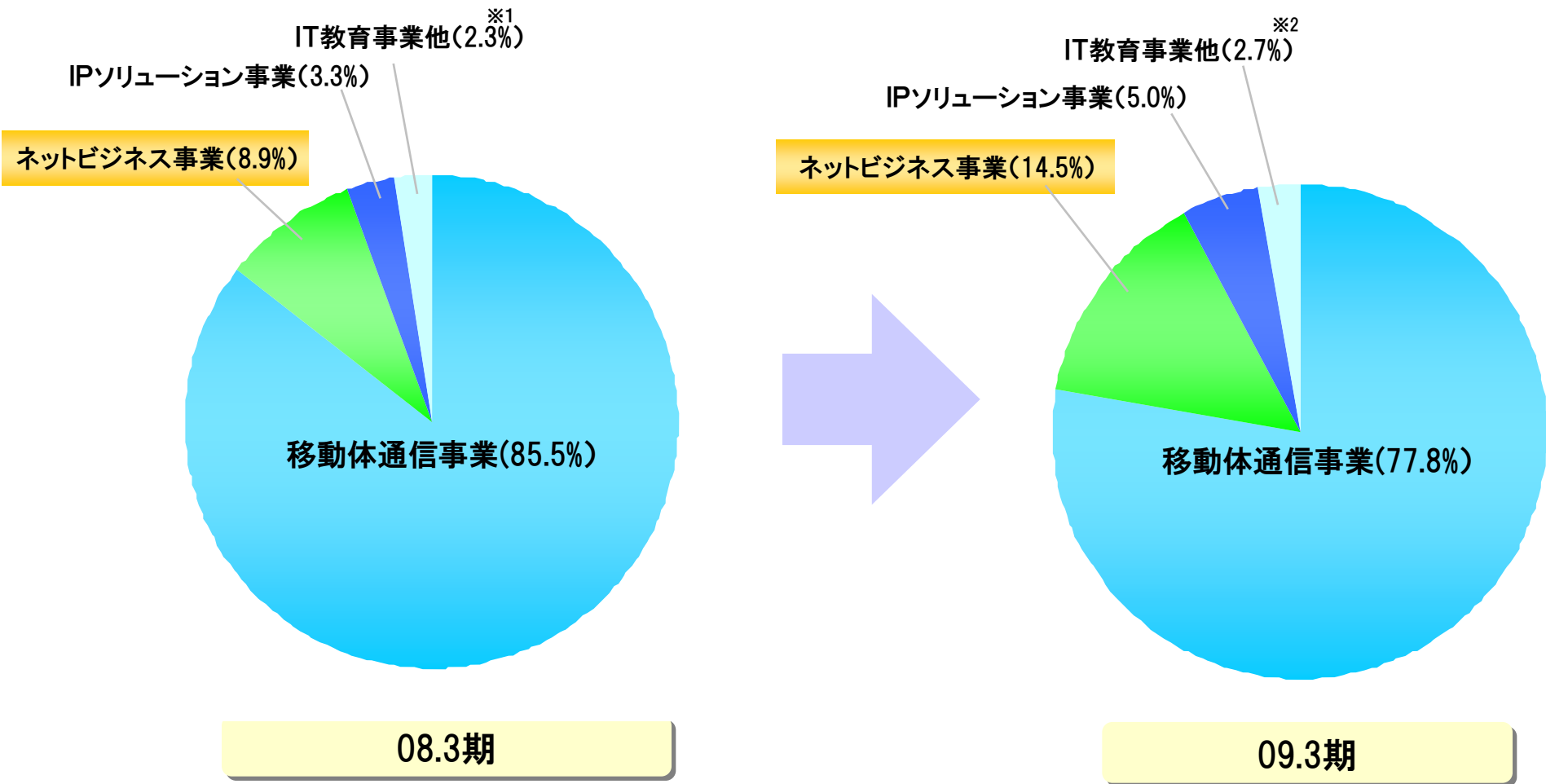
- ◆ 移動体通信は大幅減収になったものの営業利益はほぼ前期水準を維持
- ◆ ネットビジネス、人材コンサルティングは増益、IPソリューション、IT教育は営業損失

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	08.3期	09.3期	前期比(%)	08.3期	09.3期	前期比(%)
移動体通信事業	19,842	13,132	66.2	1,117	1,052	94.2
ネットビジネス事業	2,071	2,441	117.9	314	355	113.1
IPソリューション事業	756	848	112.2	△57	△96	—
IT教育事業	58	69	118.9	△157	△81	—
人材コンサルティング事業	419	356	85.0	44	60	136.6
その他事業	71	26	36.7	△63	△70	—

(2) 売上構成

◆ネットビジネス事業を核として移動体通信事業以外の事業の比率向上



※1IT教育事業、人材派遣事業、その他事業

※2IT教育事業、人材コンサルティング事業、その他事業

(3)移動体通信事業

09.3期 トピックス



販売台数減少を利益率向上で補う

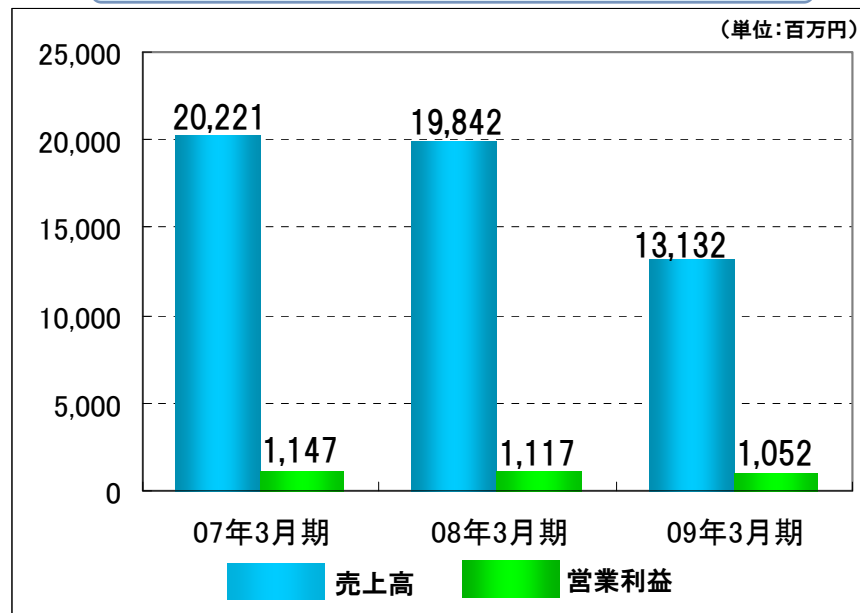
⇒売上高△6710百万円と大幅に減少

➤ 販売台数の大幅な減少が影響

⇒営業利益は前期比5.8%減と前期水準を維持

➤ 端末あたりの利益上昇、継続手数料比率上昇及びローコストオペレーションにより利益率は上昇

売上高と営業利益の推移



利益率の対前期比較

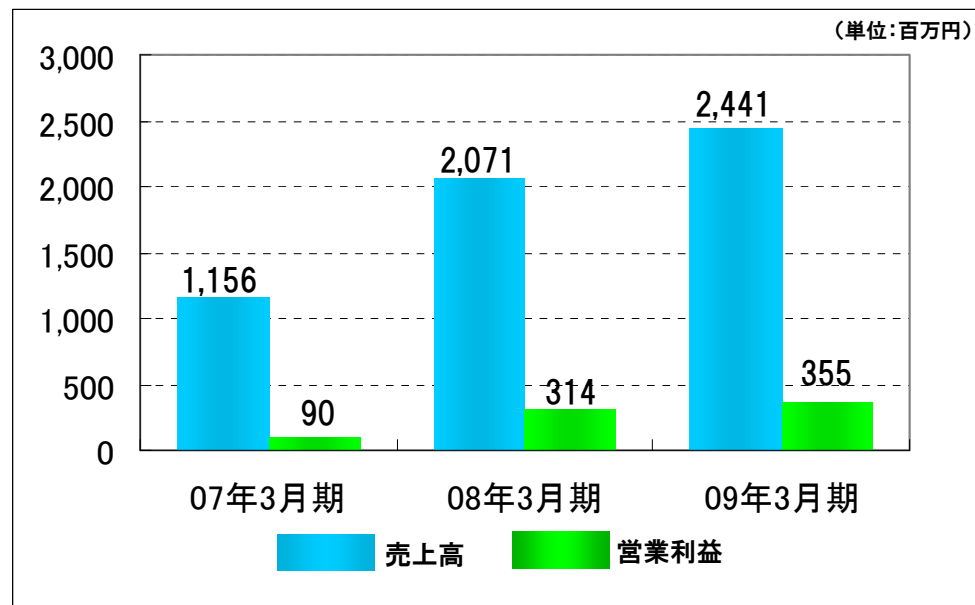
	08.3期		09.3期
売上総利益率	18.1%	➡	23.5%
営業利益率	5.6%	➡	8.0%

(4) ネットビジネス事業

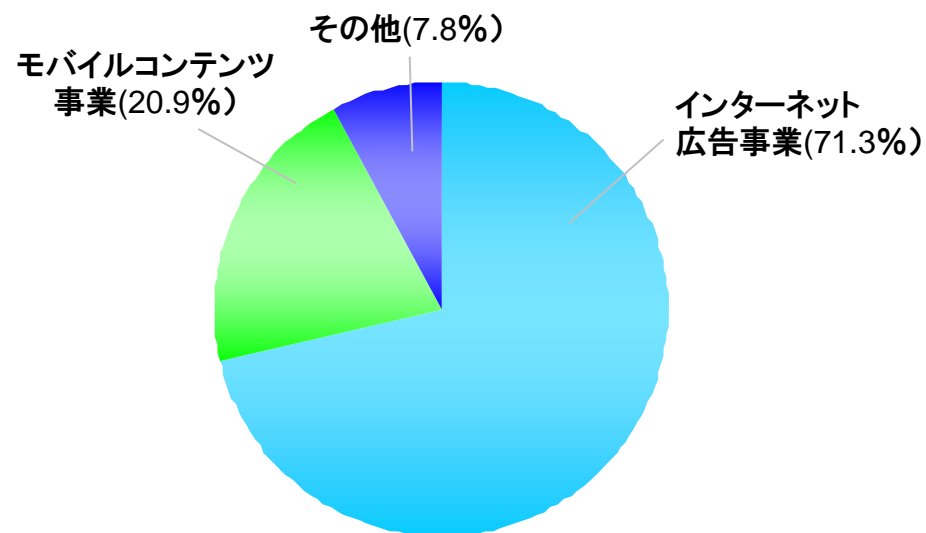
09.3期 トピックス

- ネットビジネス事業は、増収増益、韓国ビジネス展開に足がかり
 - ⇒売上高は前年同期比370百万円の増加
 - ▶ インターネット広告取扱高が堅調に推移
 - ⇒営業利益は前年同期比41百万円の増益
 - ▶ 韓国事業の収益化が寄与
 - ⇒(株)ネプロアイティ、本年4月24日にKOSDAQ上場。
 - ▶ 韓国ベンチャー企業とのメディア開発推進

売上高と営業利益の推移



事業構成比(売上高ベース)



(5)その他の事業

IPソリューション事業

09.3期 売上高 848百万円 営業利益 △96百万円

09.3月期 トピックス



増収も営業損失は拡大

⇒セキュリティ関連事業が牽引し売上高は、前年同期比92百万円の増加

⇒無形固定資産の償却負担により、営業損失は前年同期比39百万円の増加

※セキュリティ関連事業は08年4月よりIPソリューション事業にセグメント変更しております。

IT教育事業

09.3期 売上高 69百万円 営業利益 △81百万円

09.3月期 トピックス



増収・営業損失計上なるも、損失計上額自体は前年同期比で大幅縮小

⇒売上高は、CIW公式テキスト(日経BP社発行)の全国書店販売等により前年同期比11百万円増加

⇒償却費等の減少により、営業損失は、前年同期比75百万円の縮小

人材コンサルティング事業

09.3 売上高 356百万円 営業利益 60百万円

09.3月期 トピックス



内部売上減少も、利益率向上により増益

Ⅱ. 2010年3月期(第19期)業績見通し及び施策

1. 2010年3月期連結業績見通し

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

科目	前期実績	予想	前期比(%)
売上高	8,332	7,200	86.4
営業利益	63	150	238.1
経常利益	18	100	555.6
当期純利益	△29	△65	—

通期




科目	前期実績	予想	前期比(%)
売上高	16,403	15,500	94.5
営業利益	607	570	93.9
経常利益	545	470	86.2
当期純利益	3	150	—

2. 施策


(1) 移動体通信事業

10.3月期の方針

収益モデルのシフト

-  販売手数料収入から付加価値サービス収入へのシフト
⇒修理メンテナンス等の付加サービスや親和性の高い他商材の提供による収益拡大
-  法人営業力の強化
⇒グループ内顧客基盤、ネットワークの掘り起こし
-  顧客満足に応える人材の育成
⇒継続的な研修による高い接客スキルの維持

コスト構造変革の継続的な推進

-  同業他社に負けないロー・コスト・オペレーション店舗運営
⇒徹底したムダ取りと人材再配置の実施

(2) ネットビジネス事業

10.3月期の方針

事業基盤の強化

インターネット広告事業

- 付加価値の高い広告システムの開発
⇒アフィリエイト事業のノウハウを応用した新サービス「FanSiteManager」オープン(5月)

コンテンツ事業

- 会員獲得から収益獲得へのシフト
⇒既存コンテンツの利益率拡大

韓国事業

- 韓国の技術・サービス輸入
⇒韓国シメンティクス社が開発した次世代検索エンジン「Qrobo」の国内商用化(7月予定)



FanSiteManager






当社主要コンテンツ


10.3月期の方針

新・販売チャネルによる未開拓市場の掘り起こし。NTT東西の各支店との関係の再構築

IP関連事業

-  **販売パートナー10社体制による拡販推進**
⇒販売パートナーを選定し、少ないパートナー数で効率的に収益を上げる
-  **IP電話を核にネットワークソリューションを提案**
⇒NTT営業専門部隊によるNTT東西各支店との連携強化
-  **今後成長の見込めるWiMAX市場の開拓(連結子会社モバイル・テクニカ)**
⇒技術優位性を活かした新サービスの提供

セキュリティ関連事業

-  **セキュリティソリューション商材「データクレスス」の営業強化**
⇒Slerとの協業(NTTデータ、日立情報、富士電機ITソリューションなど)による、官公庁、地公体、教育機関へのアプローチ強化

(4)その他の事業

10.3月期の方針

IT教育事業

新検定試験事業の立上げ及びCIWの拡販

- ④ (仮称)日本ITスキル検定の立ち上げ準備
⇒教育機関との提携による事業の拡大
- ④ 学校法人、一般企業向けにCIWカリキュラム販売強化
⇒CIWの認知度向上と収益の下支えを強化するため、営業活動を強化



人材コンサルティング事業

グループ外部顧客の取込み

- ④ グループ外顧客の取込み
展開地域:北関東、東京、神奈川
展開方法:人材派遣⇒完全成果報酬型求人サイト「451039.jp」を使ったマッチング件数のアップ



登録無料！完全成果報酬型求人サイト

補足資料

参考データ① 連結貸借対照表概要

(単位:百万円)

決算期		08 期3月期末		09.3期末	
			構成比 (%)		構成比 (%)
資産の部	流動資産	5,702	58.7	4,751	51.6
	現預金	924		749	
	受取手形及び売掛金	2,725		2,221	
	たな卸資産 ^{※1}	1,600		1,211	
	その他	451		568	
	固定資産	4,011	41.3	4,449	48.4
	有形固定資産	466		459	
	無形固定資産	1,655		1,710	
	投資その他資産	1,890		2,279	
	繰延資産	4	0.0	—	0.0
資産合計		9,718	100.0	9,200	100.0
負債の部	流動負債	4,820	49.6	4,418	48.0
	固定負債	2,108	21.7	2,130	23.2
	負債合計	6,929	71.3	6,549	71.2

決算期		08.3期末		09.3期末		
			構成比 (%)		構成比 (%)	
純資産の部	資本金	590	23.9	590	24.5	
	資本剰余金	343		343		
	利益剰余金	1,392		1,342		
	自己株式	—		△24		
	株主資本	2,325		2,252		
	評価換算差額等	△7	—	△51	—	
	少数株主持分	469	4.8	450	4.9	
	純資産合計	2,788	28.7	2,651	28.8	
	負債・純資産合計		9,718	100.0	9,200	100.0

※1
09.3期末たな卸し資産の内訳
商品及び製品 1,085
仕掛品 20
原材料及び貯蔵品 106

参考データ② 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	08年3月期	09年3月期	増減の主な要因
営業活動によるCF	159	1,273	<ul style="list-style-type: none"> ・棚卸資産の減少 381 ・売上債権減少 348 ・減価償却費 794 ・仕入債務減少 Δ357 ・法人税等の支払額等 Δ373
投資活動によるCF	Δ 1,765	Δ 1,532	<ul style="list-style-type: none"> ・固定資産取得支出 Δ873 ・貸付金支出 Δ362 ・差入保証金支出 Δ301
財務活動によるCF	1,878	84	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入収入 950 ・長期借入金返済支出 Δ534 ・社債の償還支出 Δ383
現金及び現金同等物の期末残高	914	739	—

参考データ③ 月次携帯電話販売台数

(単位:台)

月	08年3月期	09年3月期	前期比(%)
4月	25,987	16,549	63.7
5月	21,330	13,345	62.6
6月	25,697	17,271	67.2
7月	27,327	15,321	56.1
8月	25,343	15,336	60.5
9月	22,882	12,423	54.3
累計	148,566	90,245	60.7

月	08年3月期	09年3月期	前期比(%)
10月	24,583	12,872	52.4
11月	20,298	12,486	61.5
12月	28,586	13,579	47.5
1月	19,727	12,561	63.7
2月	20,353	11,076	54.4
3月	25,612	15,599	60.9
累計	287,725	168,418	58.5

IR広報室 お問い合わせ窓口

TEL 03-6803-3975

FAX 03-6803-3971

Email ir@nepro.jp

URL <http://www.nepro.jp>

- ・当該資料におけるセグメント別売上高、営業利益のデータは、連結仕訳以前のものになります。
- ・当該資料における業績見通し等の将来に関する記述は、作成時時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
- ・当該資料は弊社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず目論見書をご覧頂いたうえで、投資家ご自身の判断で行うようお願い致します。